

# 全般季節予報支援資料 1か月予報

2024年4月25日

予報期間：4月27日～5月26日

この資料は、気象事業者等が、気象庁の提供する季節予報の根拠を理解するための補助資料であり、そのままの形で一般に提供することを想定して作成したものではありません。

## 特に注意を要する事項

全国的に期間の前半は気温がかなり高くなる見込みです。

## 出現の可能性が最も大きい天候

- 北日本では、天気は数日の周期で変わるでしょう。
- 東・西日本では、天気は数日の周期で変わり、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。
- 沖縄・奄美では、平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。

# 全般1か月予報

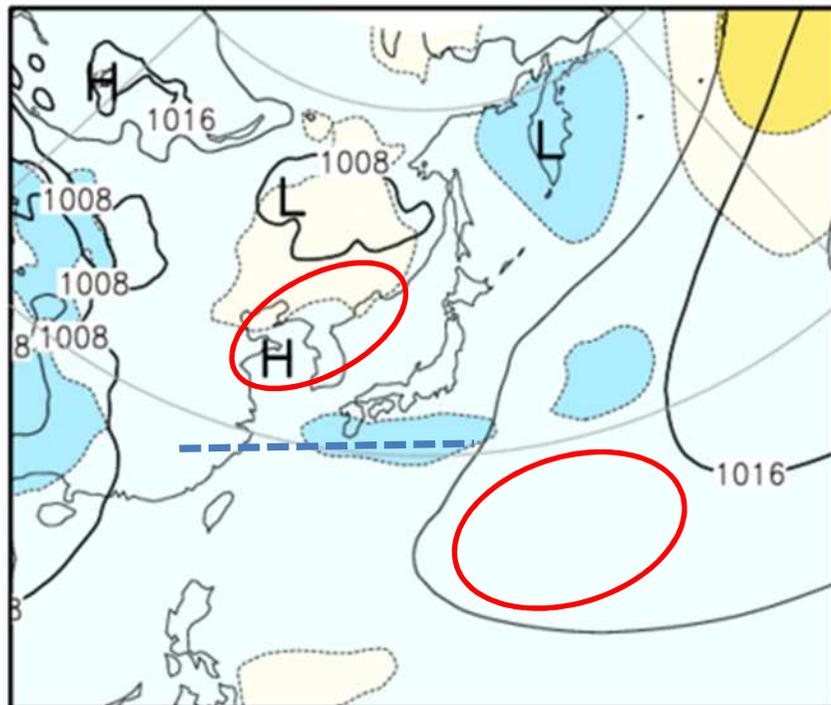
1か月		気温(%)	降水量(%)	日照時間(%)	降雪量(%)
		低並高	少並多	少並多	少並多
北日本	日本海側	10:30:60	30:30:40	40:30:30	
	太平洋側		30:30:40	40:30:30	
東日本	日本海側	10:20:70	30:30:40	40:30:30	
	太平洋側		30:40:30	40:30:30	
西日本	日本海側	10:20:70	30:40:30	40:30:30	
	太平洋側		30:30:40	40:30:30	
沖縄・奄美		10:10:80	20:30:50	30:30:40	

気温	1週目(%)	2週目(%)	3~4週目(%)
	低並高	低並高	低並高
北日本	10:10:80	20:30:50	20:40:40
東日本	10:10:80	10:30:60	20:30:50
西日本	10:10:80	10:30:60	20:30:50
沖縄・奄美	10:10:80	10:30:60	10:30:60

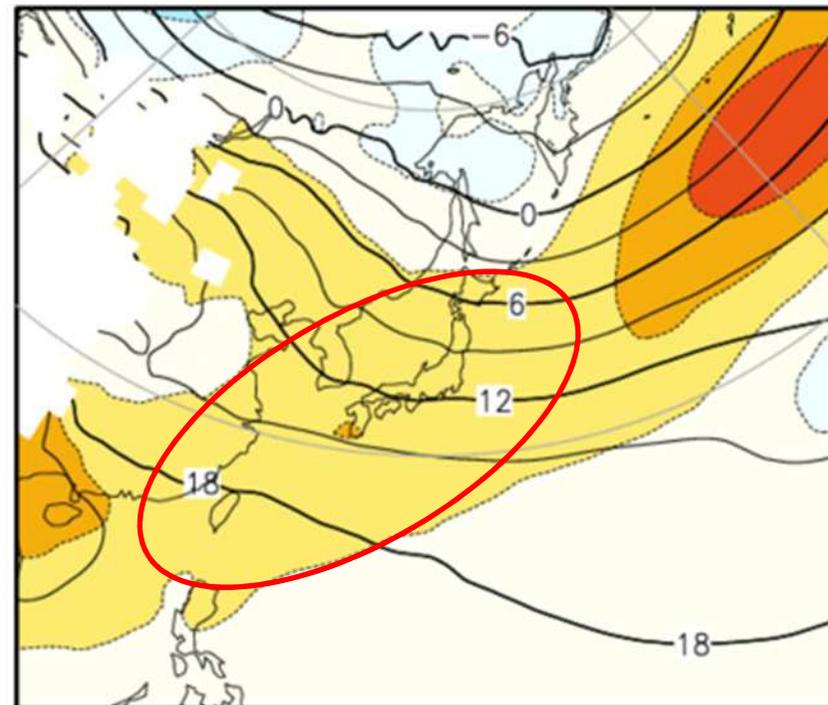
## 全般予報のポイント

- 暖かい空気に覆われやすいため、向こう1か月の気温は全国的に高いでしょう。特に、全国的に期間の前半は気温がかなり高くなる見込みです。
- 前線や湿った空気の影響を受けやすい時期があるため、向こう1か月の降水量は沖縄・奄美で多いでしょう。

## 地上気圧(1か月)

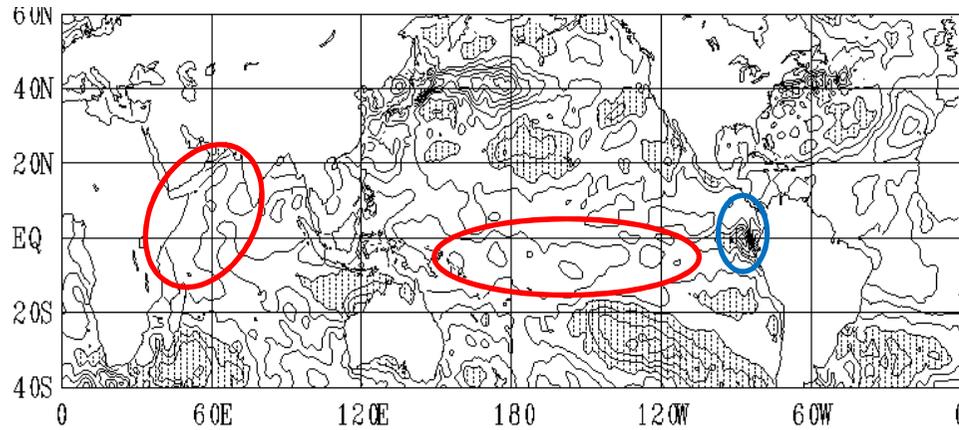


## 上空約1500mの気温(1か月)



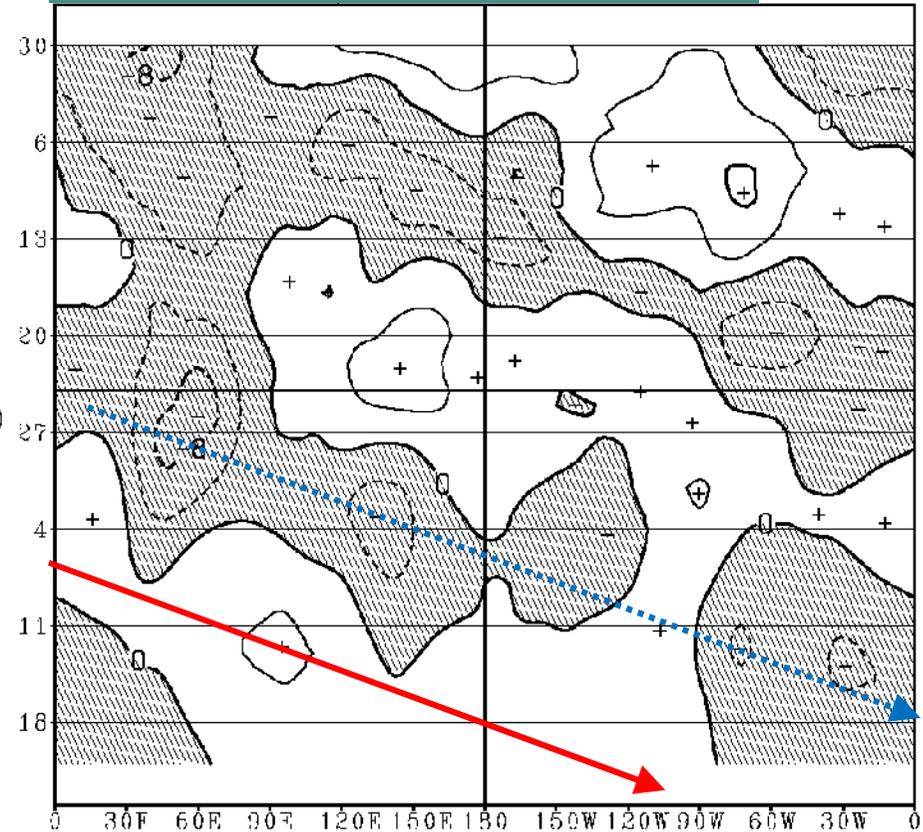
1か月平均の地上気圧(左図)は、日本の南と黄海に高気圧があり、その間の東シナ海から本州の南にかけては気圧の谷となっています。このため、沖縄・奄美では、前線や湿った空気の影響を受けやすい時期があるでしょう。  
上空約1500mの気温(右図)は、日本付近では平年より高く、暖かい空気に覆われやすいでしょう。

## SST偏差



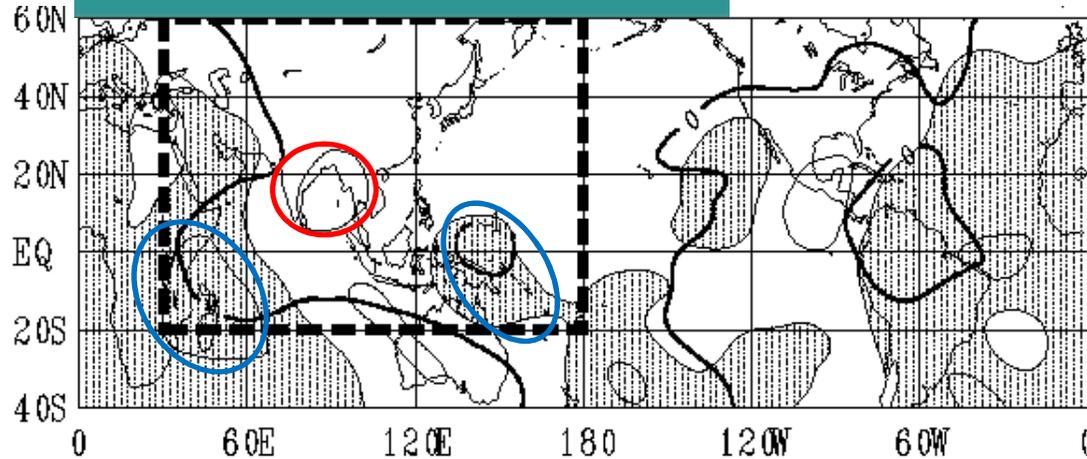
太平洋赤道域は中部を中心に正偏差だが、東部には負偏差も見られる。  
インド洋熱帯域は西部を中心に正偏差。

## 200hPa速度ポテンシャル偏差



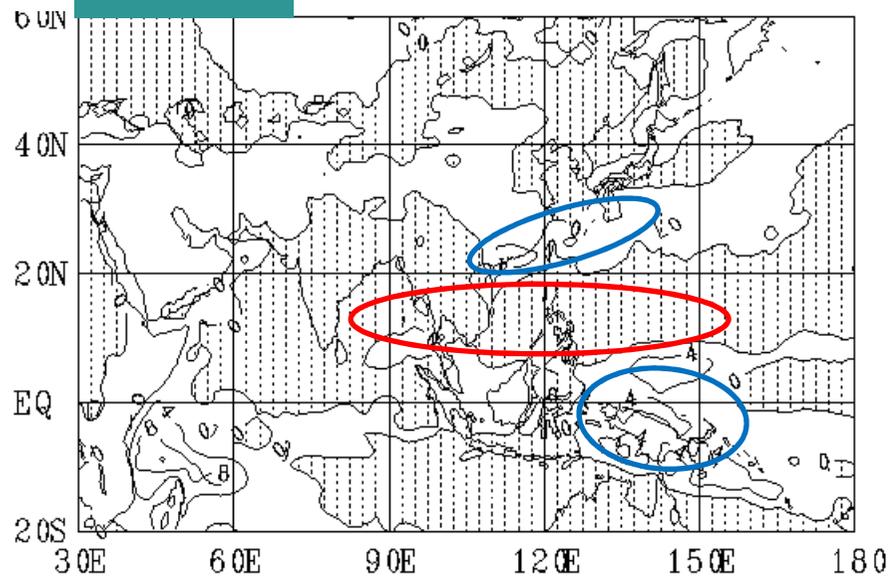
MJOの対流活発位相は、インド洋西部から南米にかけて東進。一方、不活発位相が、予報2週目から4週目にかけてアフリカから太平洋中部へ東進。

## 200hPa速度ポテンシャル



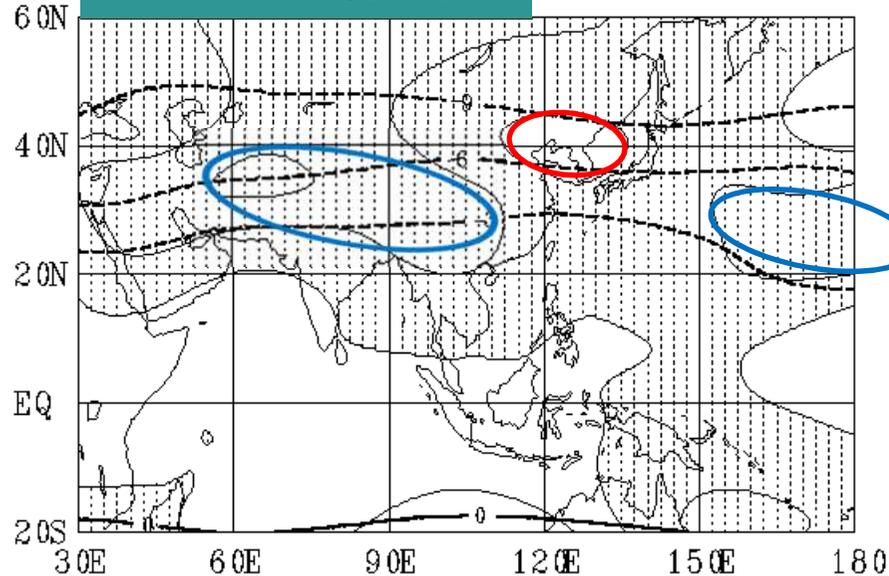
赤道域ではインド洋西部とニューギニア付近で上層発散偏差。一方、ベンガル湾は上層収束偏差。

## 降水量



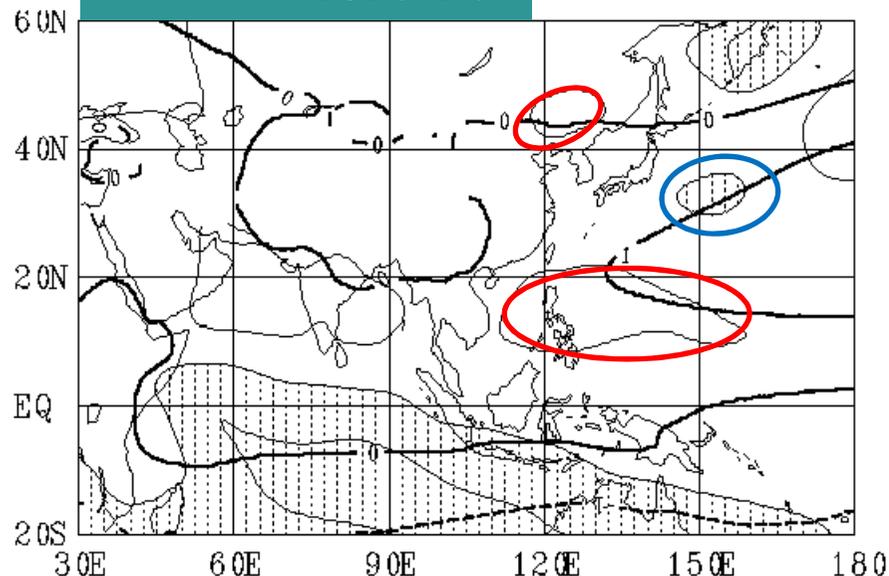
ニューギニア付近で多雨偏差、ベンガル湾からフィリピンの東にかけて少雨偏差。華南から日本の南にかけて多雨偏差。

## 200hPa流線関数



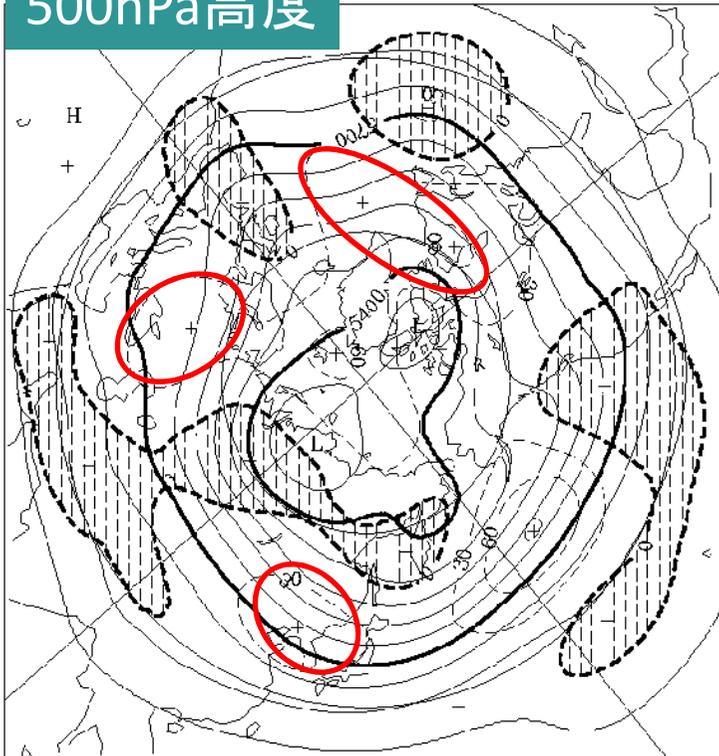
華南からインドの北にかけてと日本の南東海上は低気圧性循環偏差。朝鮮半島付近は高気圧性循環偏差。

## 850hPa流線関数



南シナ海からフィリピンの東にかけて高気圧性循環偏差。また中国東北区で高気圧性循環偏差。日本の南東海上は低気圧性循環偏差。

## 500hPa高度



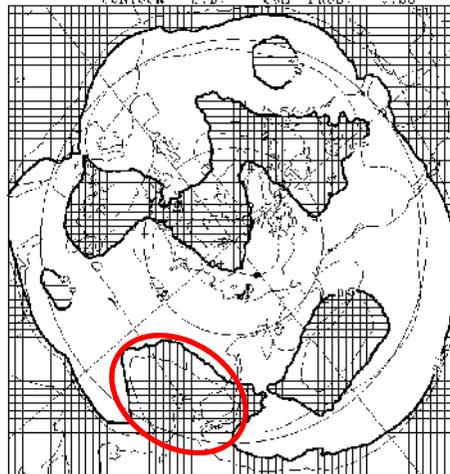
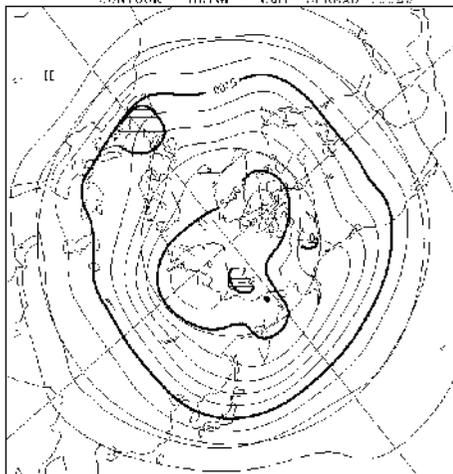
北半球域では、波列状の偏差パターンが卓越。その一環として、日本付近は強い正偏差域に覆われる。

500hPa SPREAD AND HEIGHT

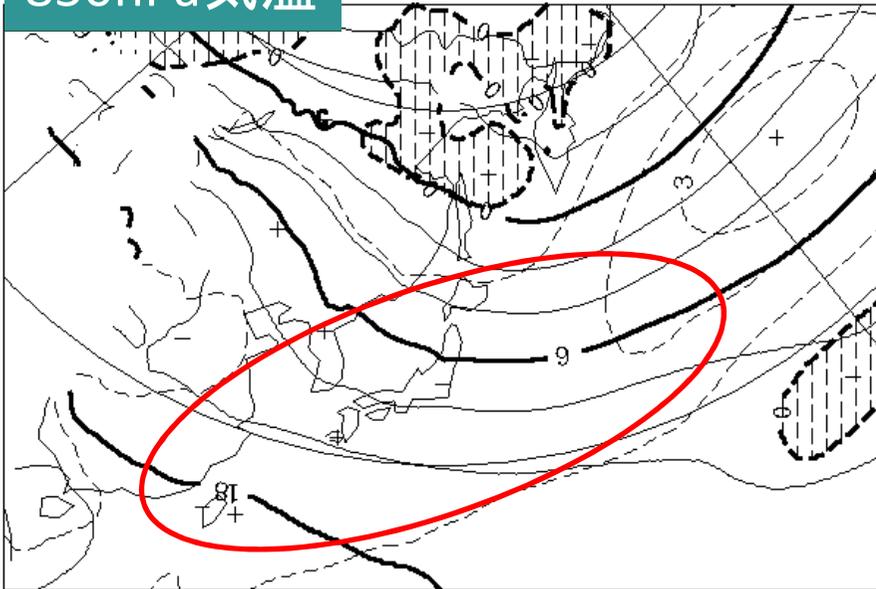
PROJ. OF HEIGHT ANOMALY AND S.D.

CONTOUR HEIGHT: 600m SPREAD: 0.25

CONTOUR S.D.: 20m PROB: 0.25

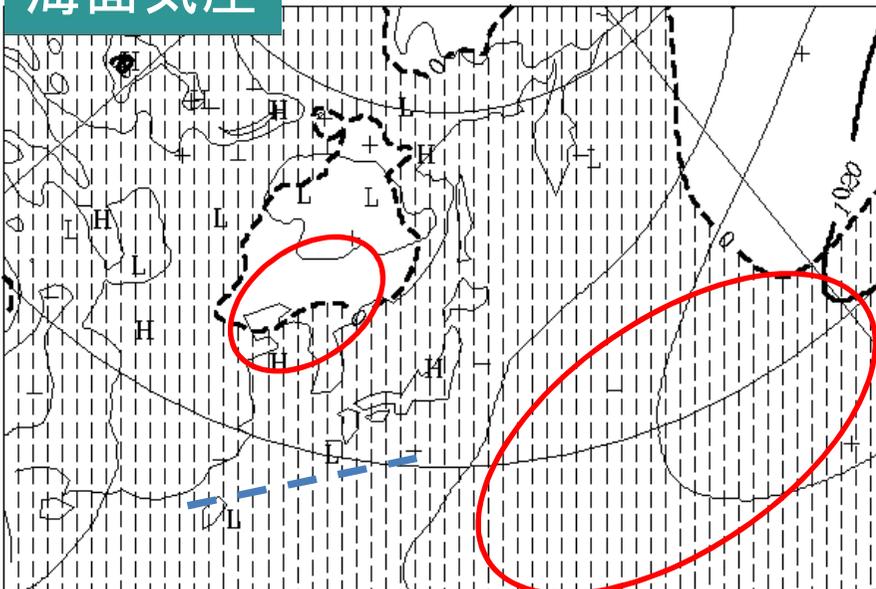


## 850hPa気温



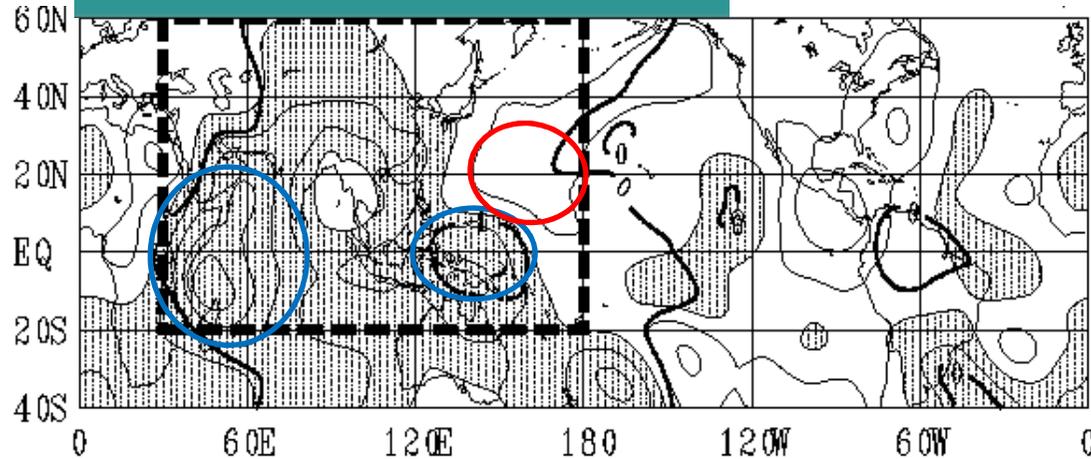
日本付近は東西に広く高温偏差。

## 海面気圧



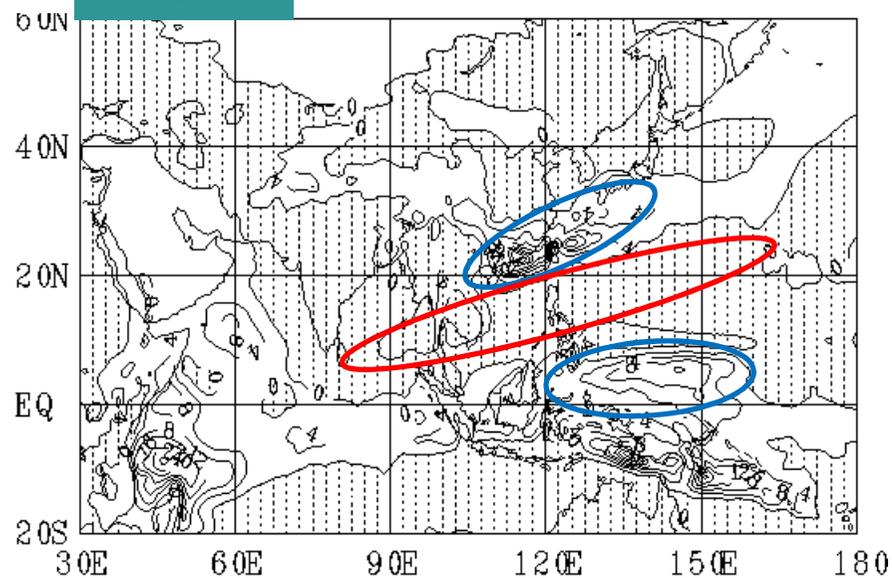
日本の南と黄海に高気圧があり、その間の東シナ海から本州の南にかけては気圧の谷。沖縄・奄美では、前線や湿った空気の影響を受けやすい時期がある。

## 200hPa速度ポテンシャル



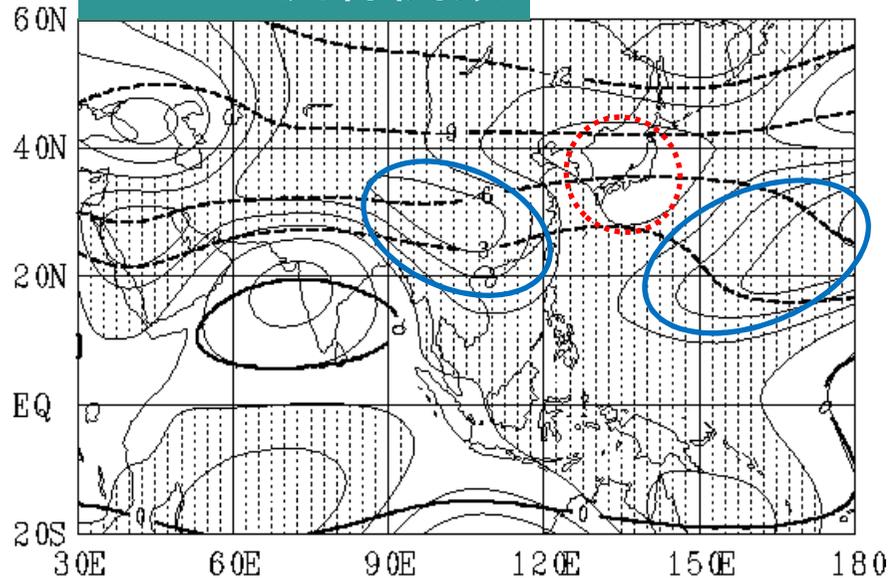
インド洋西部、ニューギニア付近で上層発散偏差。フィリピン東方海上から日付変更線の西で上層収束偏差。

## 降水量



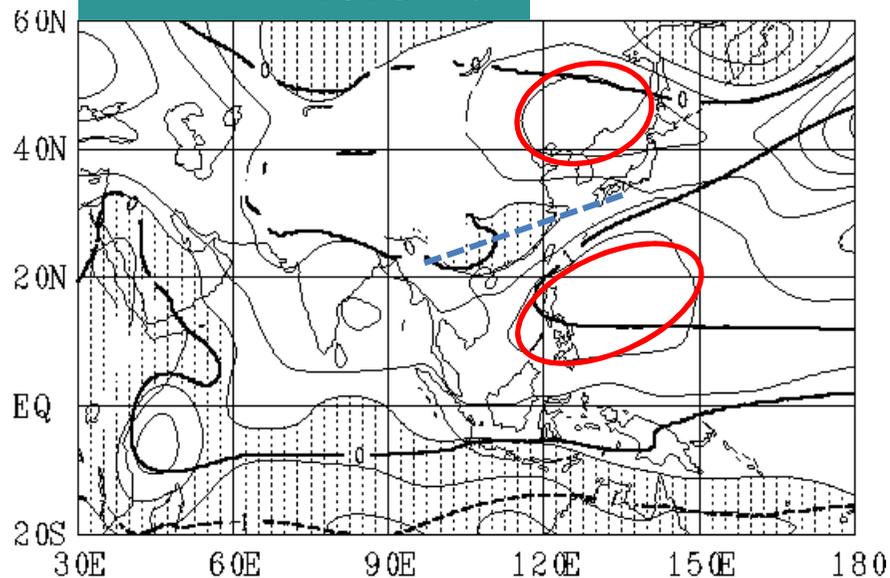
ニューギニア付近で多雨偏差。ベンガル湾からフィリピンの東にかけて少雨偏差。華南から西日本にかけて多雨偏差。

## 200hPa流線関数



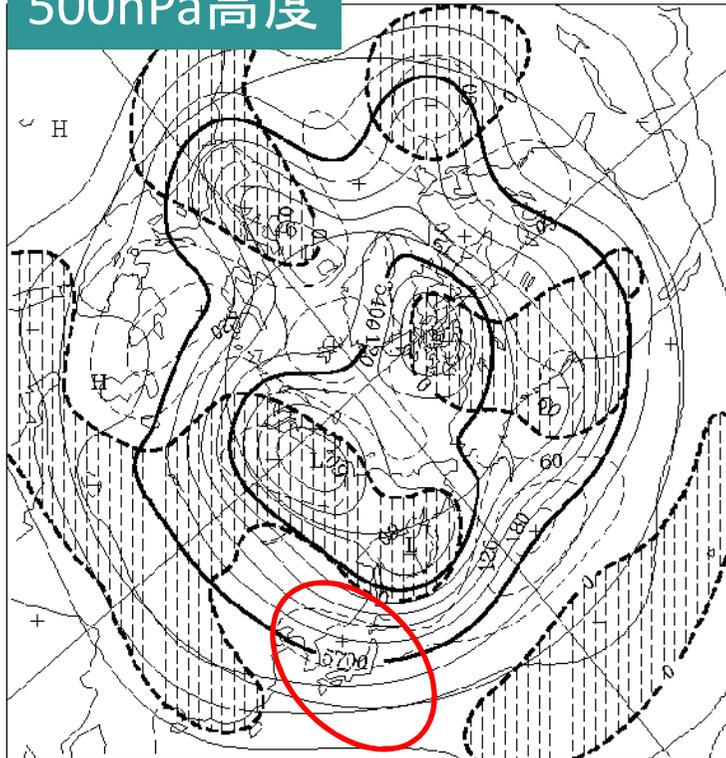
亜熱帯ジェット気流に沿った波列パターンが見られる。本州付近は相対的な高気圧性循環偏差。華中・華南とフィリピン東方海上から日付変更線の西にかけて低気圧性循環偏差。

## 850hPa流線関数

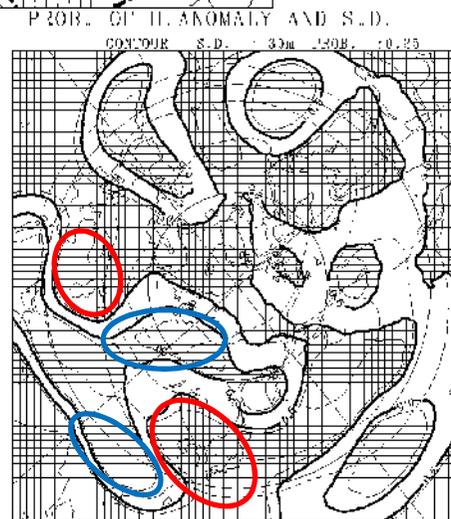
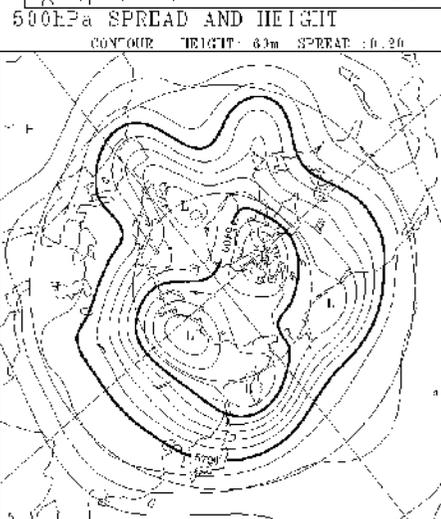


南シナ海からフィリピンの東にかけてと中国東北区付近で高気圧性循環偏差。その間の東シナ海から本州南岸にかけて前線帯。

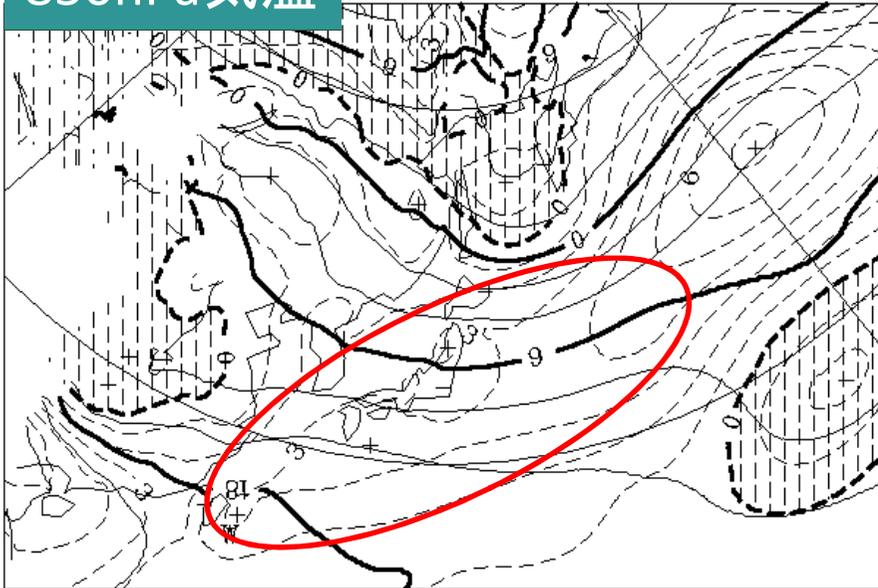
## 500hPa高度



日本付近は強い正偏差域に覆われる。加えて、正の高偏差確率が大きな領域には、寒帯前線ジェット気流や亜熱帯ジェット気流に沿った波列状のパターンが見られる。

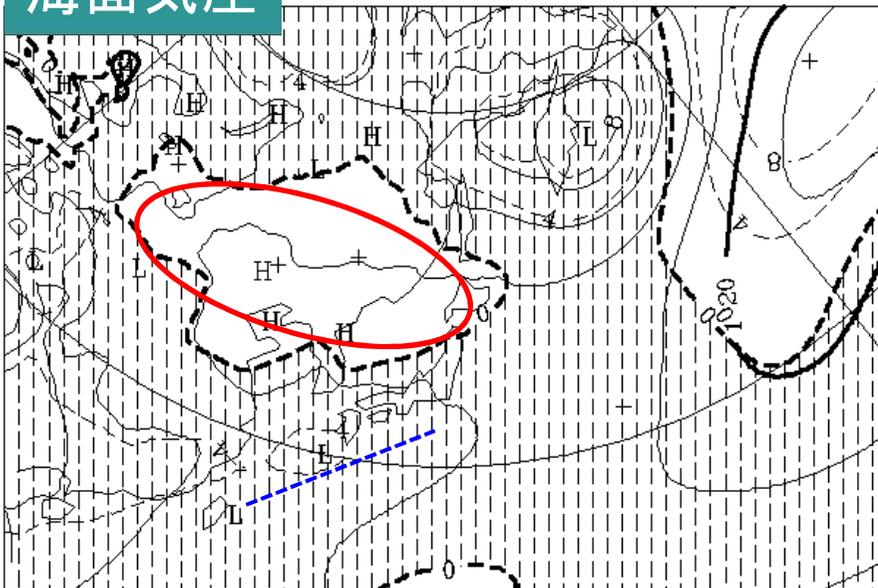


## 850hPa気温



日本付近は東西に広がる高温偏差。高温偏差の中心は西日本付近。

## 海面気圧



中国東北区から北海道付近にかけて正偏差の一方、東日本以南は負偏差。本州の南岸には気圧の谷があり、沖縄・奄美を中心に前線や湿った空気の影響を受けやすい。

## 想定される天候

- 北日本では、天気は数日の周期で変わるでしょう。
- 東日本日本海側では、天気は数日の周期で変わり、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。
- 東日本太平洋側と西日本では、天気は数日の周期で変わりますが、前線や低気圧の影響を受けやすく、平年に比べ晴れの日が少ないでしょう。
- 沖縄・奄美では、前線や湿った空気の影響を受けやすく、平年に比べ曇りや雨の日が多いでしょう。

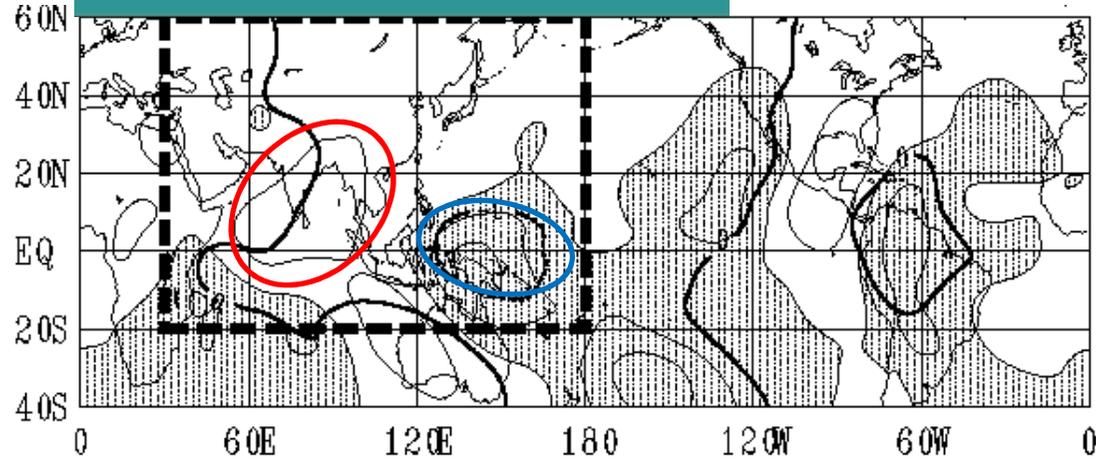
### <気温>

暖かい空気に覆われやすいため、全国的に高温で、かなり高くなる見込み。

### <天候>

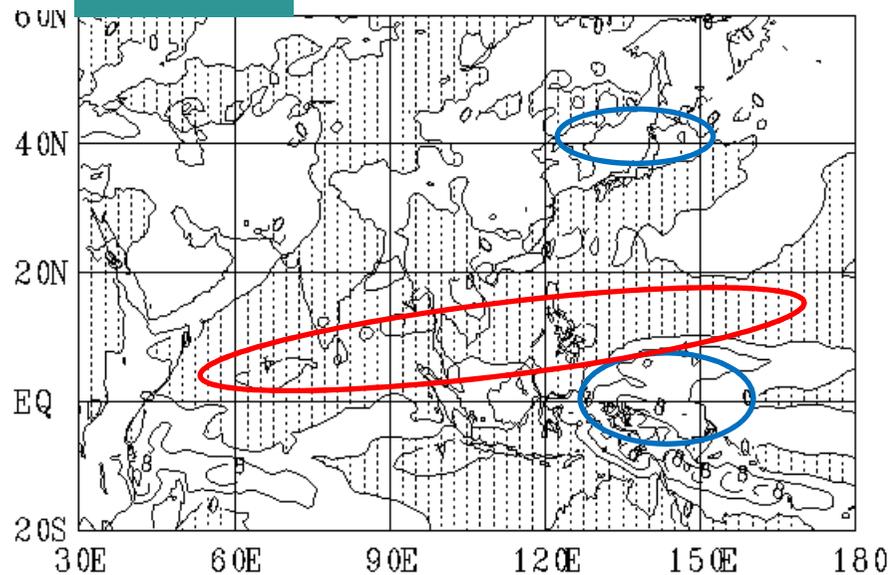
前線の影響は沖縄・奄美が中心で、多雨・寡照。西日本はやや多雨で寡照。東日本太平洋側は並雨で寡照。北日本と東日本日本海側は並雨並照。

## 200hPa速度ポテンシャル



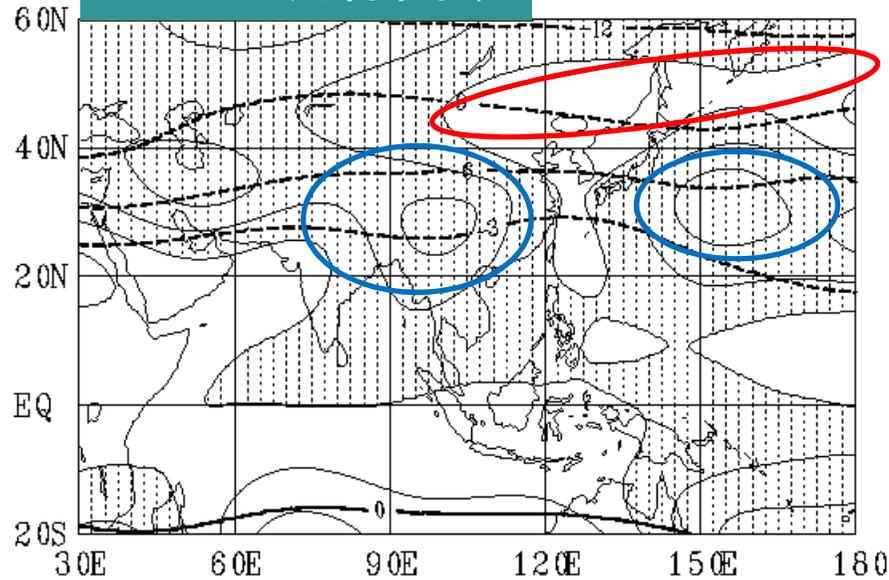
ニューギニア付近で上層発散偏差、インド洋で上層収束偏差。

## 降水量



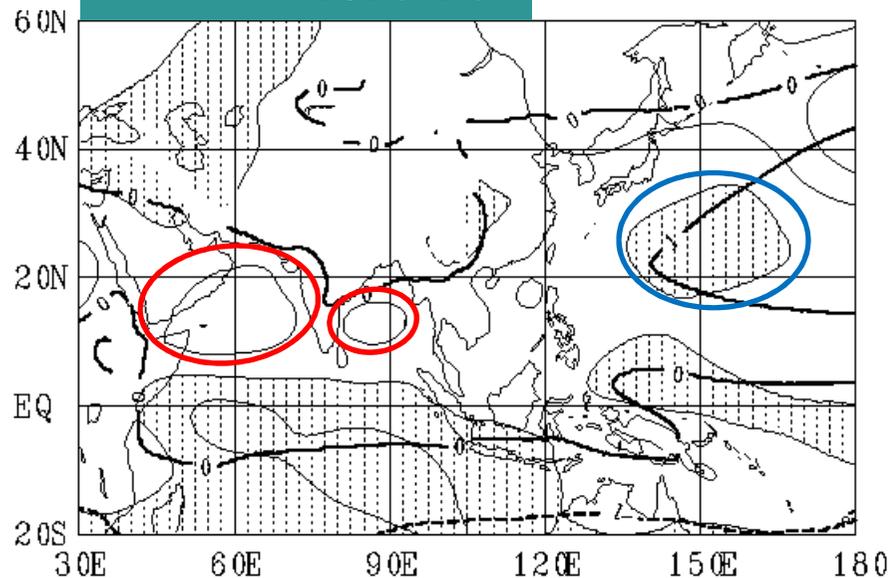
ニューギニア付近で多雨偏差。アラビア海からフィリピンの東にかけて少雨偏差。北日本はやや多雨偏差。

## 200hPa流線関数



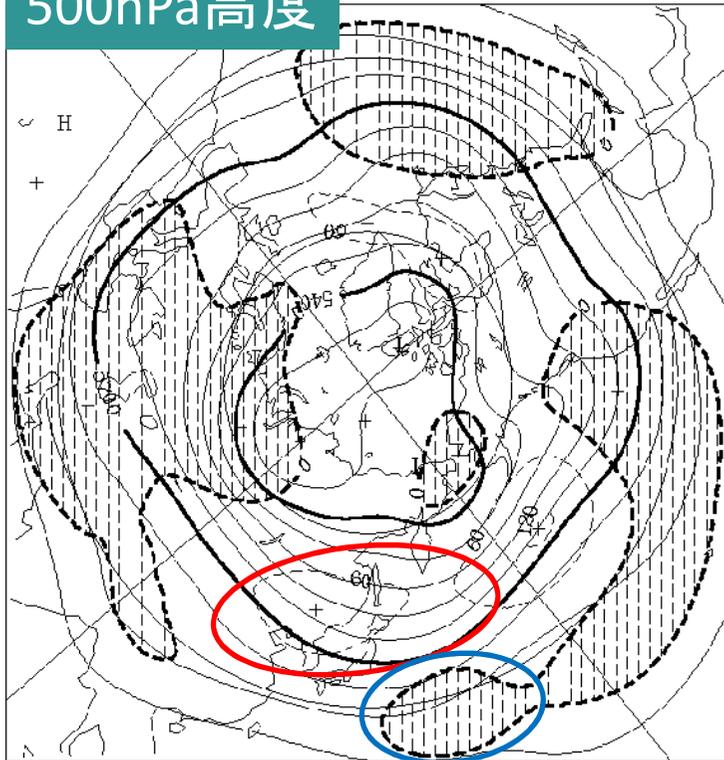
華南からインドシナ半島の北にかけてと日本の南東海上は低気圧性循環偏差。中国東北区から千島の東にかけては高気圧性循環偏差。

## 850hPa流線関数

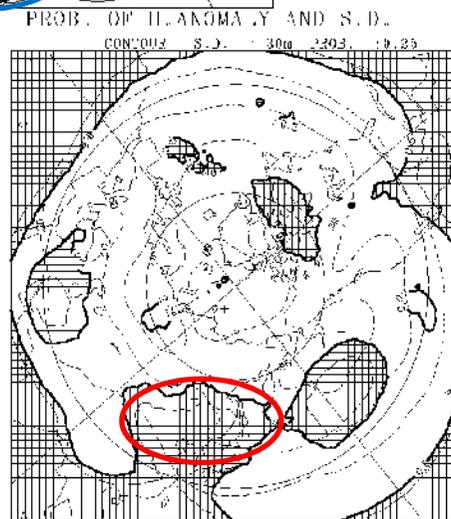
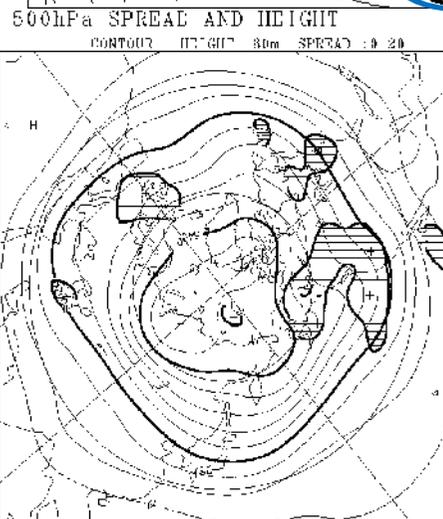


アラビア海とベンガル湾で高気圧性循環偏差。日本の南東海上で低気圧性循環偏差。

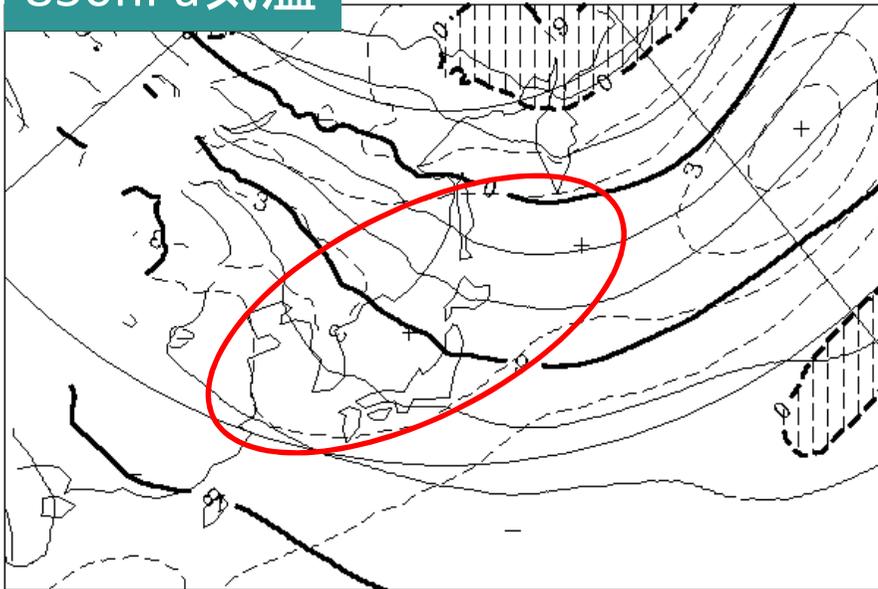
## 500hPa高度



日本付近は正偏差。日本の南東海上は負偏差。

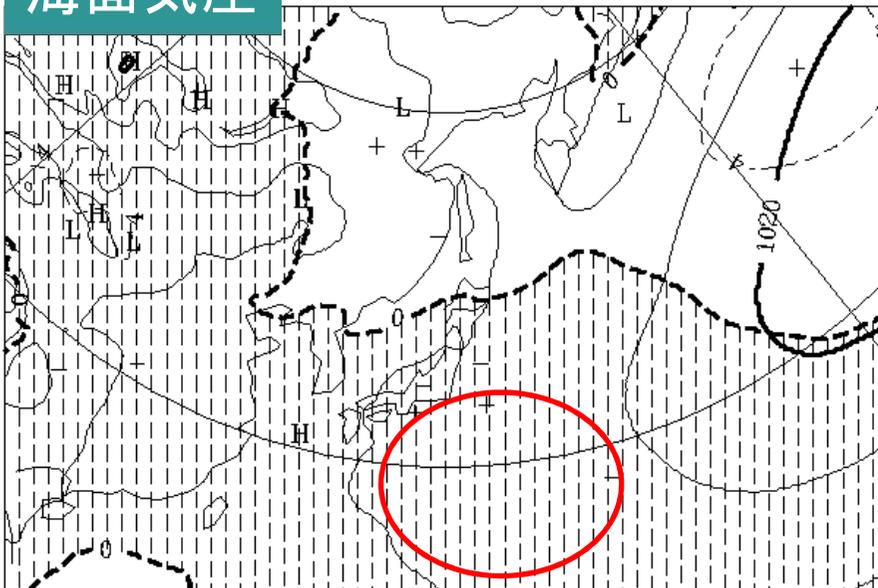


## 850hPa気温



日本付近は広く高温偏差に覆われる。

## 海面気圧



日本の南で高気圧が張り出し、西日本太平洋側を中心に湿った空気が流れ込みやすい。また、北日本を中心に低気圧の影響を受ける時期がある見込み。

## 想定される天候

- 北日本では、天気は数日の周期で変わるでしょう。
- 東・西日本では、天気は数日の周期で変わり、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。
- 沖縄・奄美では、平年に比べ曇りや雨の日が少ないでしょう。

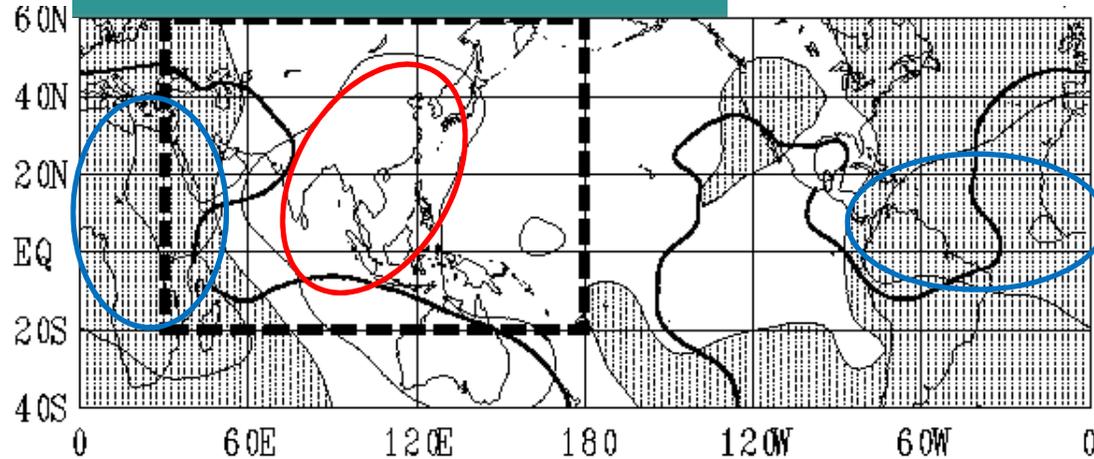
### <気温>

暖かい空気に覆われやすいため、全国的に高温で、かなり高くなる可能性がある。

### <天候>

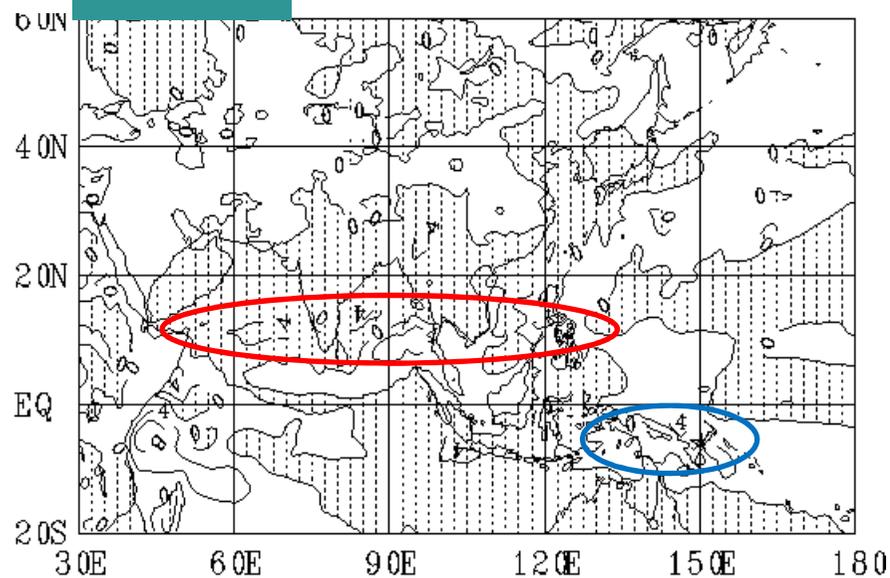
湿った空気の影響を受けやすい西日本太平洋側はやや多雨傾向でやや寡照傾向。沖縄・奄美は2週目のはじめは前線や湿った空気の影響を受けるものの、その後は前線の影響を受けにくく、並雨で多照。北日本と東日本日本海側は低気圧の影響を受ける時期があり、やや多雨傾向でやや寡照傾向。東日本太平洋側と西日本日本海側は周期変化傾向で並雨並照。

## 200hPa速度ポテンシャル



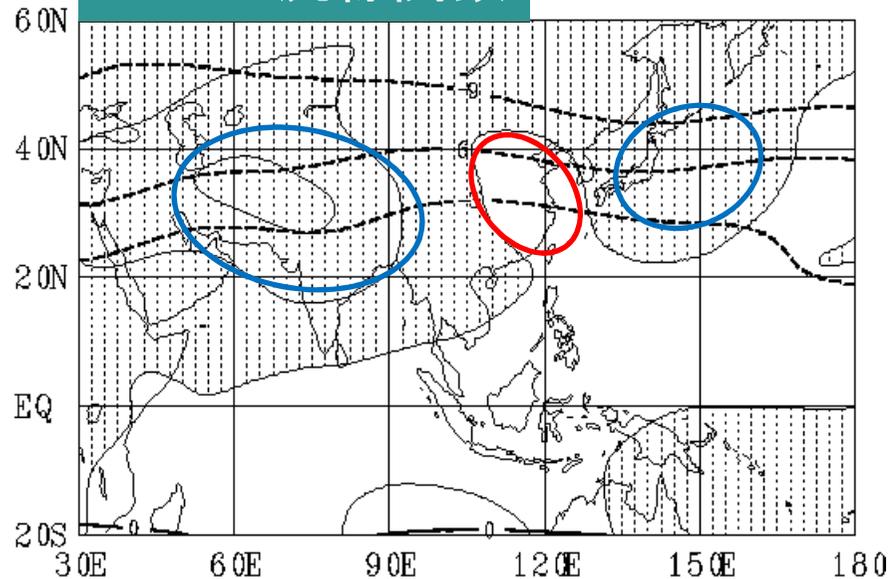
南米からアフリカにかけて上層発散偏差、インド洋から日本付近にかけて上層収束偏差。

## 降水量



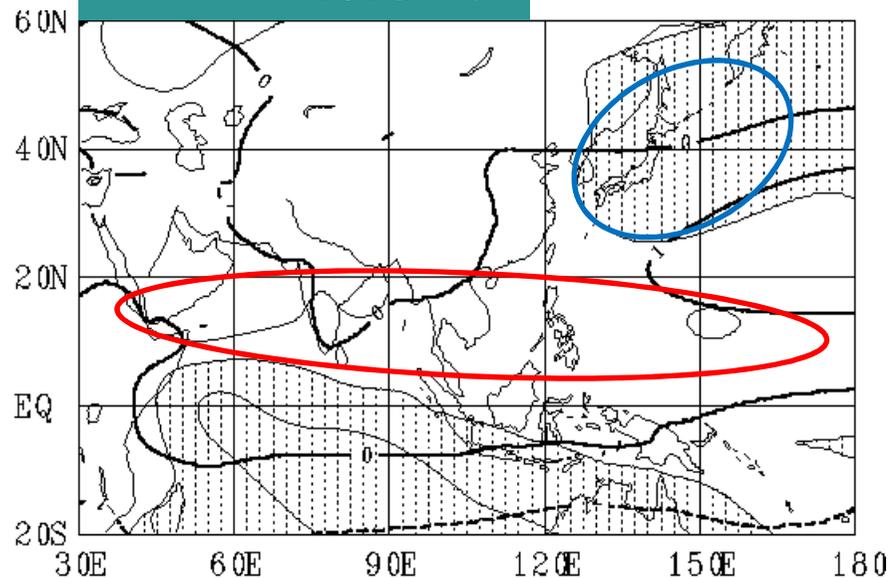
ニューギニア付近で多雨偏差。  
アラビア海からフィリピンの東にかけて少雨偏差。

## 200hPa流線関数



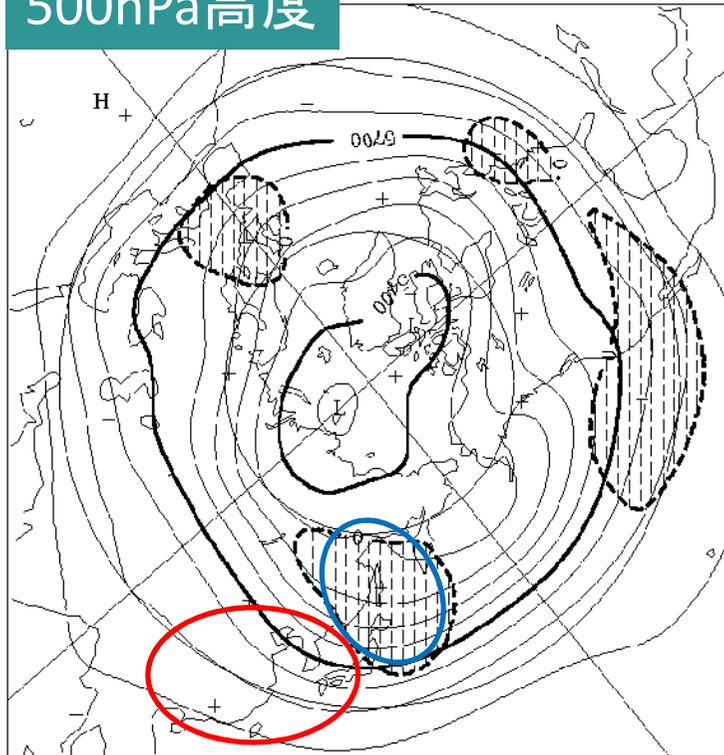
中東と日本の東を中心に低気圧性循環偏差。華中・華南は高気圧性循環偏差。

## 850hPa流線関数



アラビア海からフィリピンの東にかけて高気圧性循環偏差。本州付近は低気圧性循環偏差。

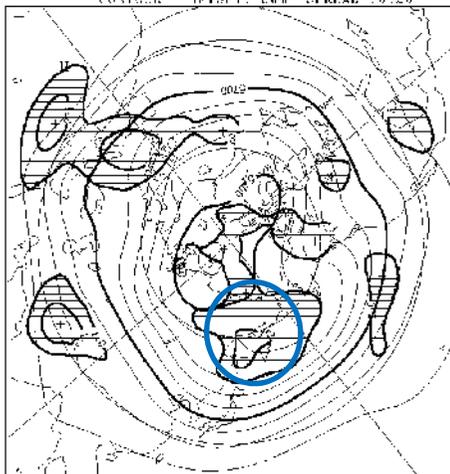
## 500hPa高度



サハリン付近を中心に北・東  
日本で負偏差、華南を中心に  
西日本と沖縄・奄美で正偏差。  
日本の北にスプレッドの大きな  
領域が広がり、予測の不確実  
性が大きい。

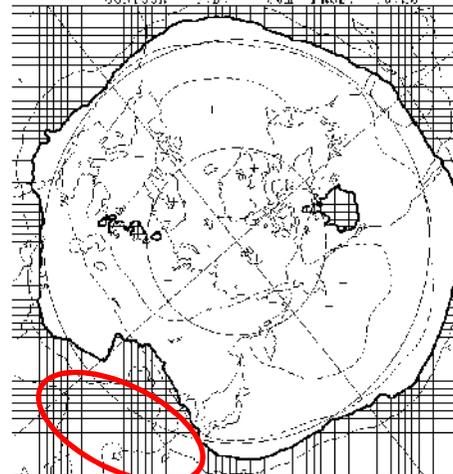
500hPa SPREAD AND HEIGHT

CONTOUR HEIGHT: 60m SPREAD: 0.20

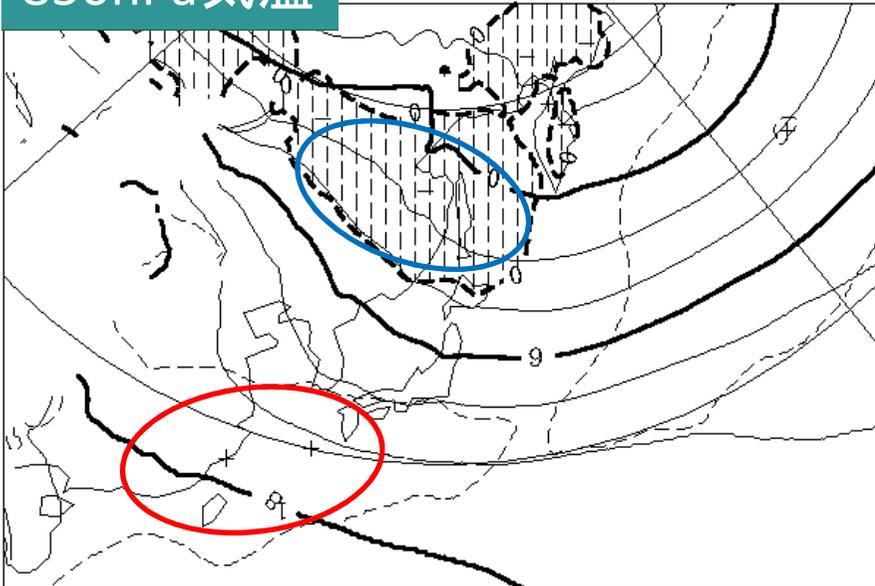


PROB. OF 1 ANOMALY AND S.D.

CONTOUR S.D.: 20m PROB: 0.25

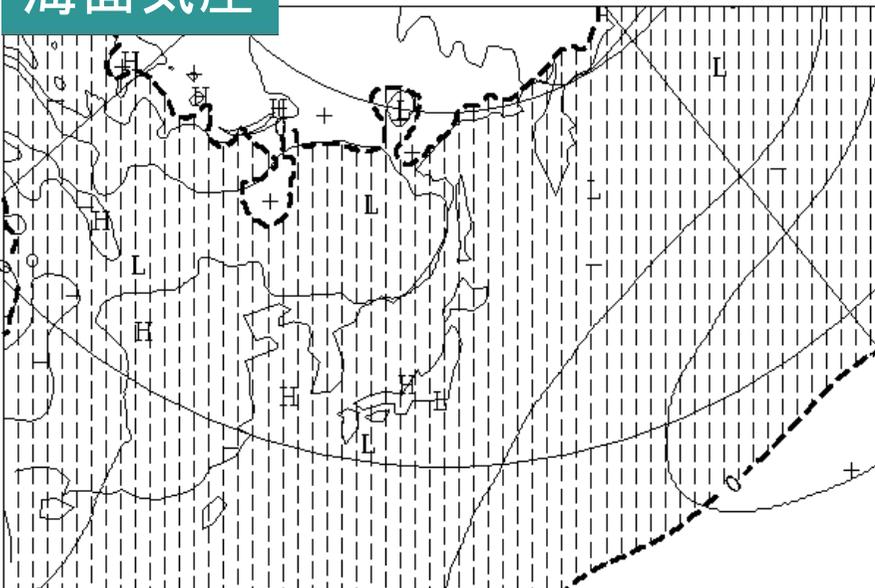


## 850hPa気温



北海道付近は低温偏差がかかるが、北日本はスプレッドが大きいことから、低温の程度をやや割り引く。沖縄・奄美付近には南から暖かく湿った空気が流れ込みやすい時期がある見込み。

## 海面気圧



日本付近の等圧線の間隔が大きく、天気は数日の周期で変わる見込み。

## 想定される天候

- 北日本では、天気は数日の周期で変わるでしょう。
- 東・西日本では、天気は数日の周期で変わり、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。
- 沖縄・奄美では、平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。

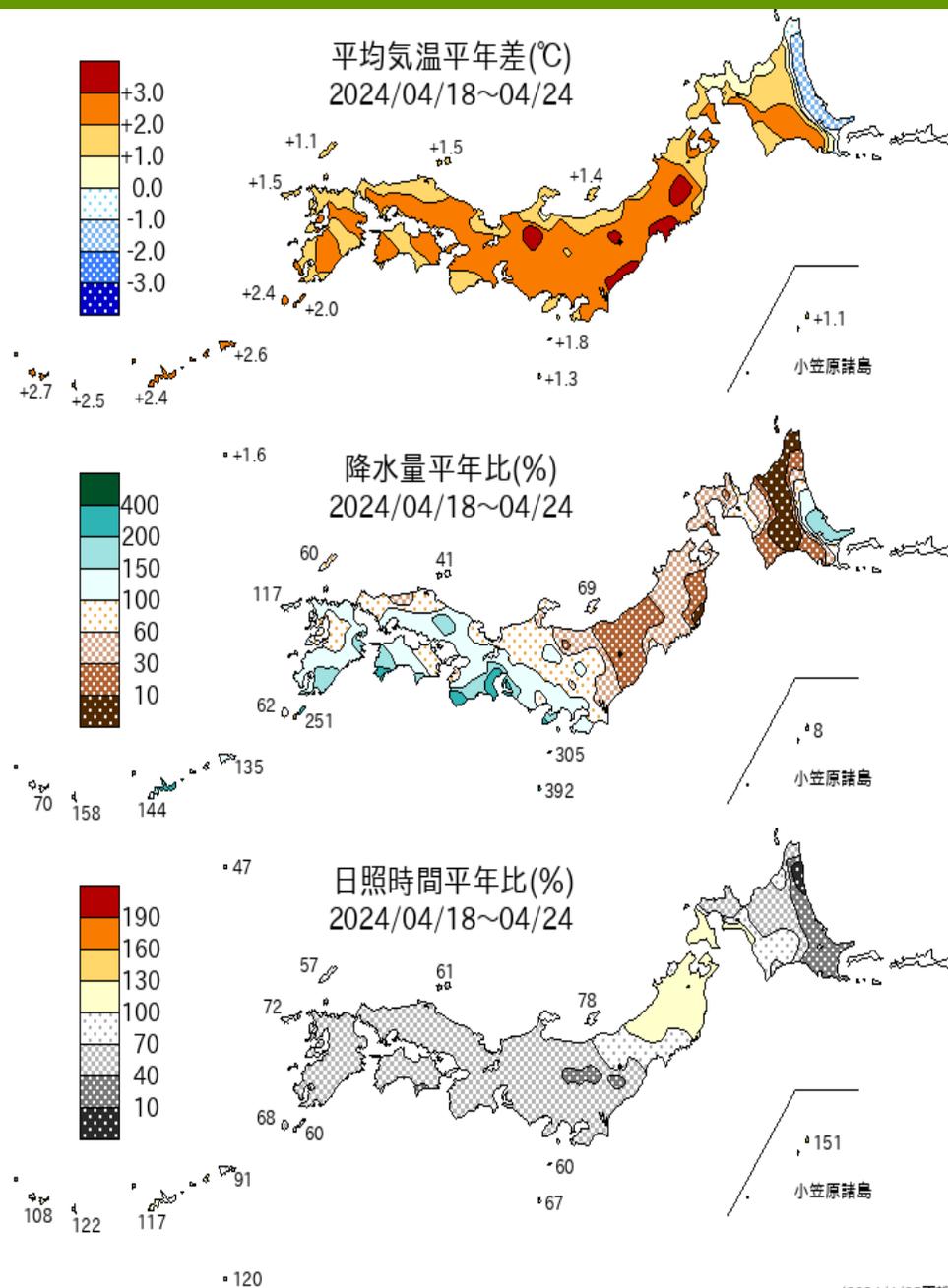
### <気温>

暖かい空気に覆われやすいため、東・西日本と沖縄・奄美で高温。北日本で高温傾向。

### <天候>

北・東・西日本は並雨並照を見込む。沖縄・奄美は湿った空気の影響を受ける時期があり、やや多雨傾向で並照。

# 最近1週間の天候経過



最近1週間(4月18日~4月24日)は、北日本を中心に高気圧に覆われて晴れた日があった一方、本州南岸を中心に低気圧や前線の影響を受けやすく、東・西日本太平洋側と沖縄・奄美を中心に曇りや雨の日が多くなりました。

気温は、暖かい空気に覆われやすかったため、おおむね全国的に高くなりました。